

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	101	科目名	社会人基礎力講座		科目区分	非常勤	
科目群	教養	担当講師	相原 芳美		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	使用しない			参考書	レジュメ・ワークシート		
成績評価	提出課題 60% 課題内容 30% まとめテスト 20%						

### 1. 授業概要

振り返りやグループワークを通して、就職に対する意識を高め、就職活動に向けての準備をする。会社の仕組みや企業が求める人材について理解する。

### 2. 到達目標

マナーやコミュニケーションなどの基礎的な社会性（社会人基礎力）を身に付けることができる。

### 3. 授業計画

前期	
1	本授業の目的の理解・「働くということ」「社会人基礎力」の意味と意義の理解
2	社会人に必要なマナーの理解（挨拶・言葉遣い・第一印象・SNS利用のマナー）
3	コミュニケーション力向上ワークショップ
4	「チームワーク」向上のワークショップ
5	「前に踏み出す力」向上のワークショップ
6	「考え抜く力」向上のワークショップ
7	まとめテスト
8	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 I
9	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 II
10	「自己理解」のためのワークショップ①（価値分析・モチベーション）
11	「自己理解」のためのワークショップ②（好きなこと・得意なこと）
12	「自己理解」のためのワークショップ③（社会人基礎力の再評価・自己PR）
13	まとめテスト
14	会社の仕組みとハウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構え I
15	会社の仕組みとハウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構え II
16	面接練習・まとめテスト
17	講評

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	放送映像学科
科目番号	102	科目名	特別講義	科目区分	実務経験教員
科目群	教養	担当講師	水落 清治	履修区分	選択必修
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2
教科書	講師持ち込み資料		参考書	授業形態	講義
成績評価	平常点や授業の貢献度 50% レポート評価 50%				

1. 授業概要

放送業界の様々な職種で、現役で働いている方のそれぞれの技術分野の特徴を理解する
---

2. 到達目標

放送関連の業務に就職した際の実務経験者との共同作業を円滑に行える。
-----------------------------------

3. 授業計画

後期	
1	特別講義の内容と受講の心構え
2	番組制作の現場と音声の仕事
3	スタジオ技術について、編集・MAについて
4	報道カメラマンについて
5	電気のはなし 国際通信
6	ニュースと報道番組その違いとは
7	映像編集とは
8	4K8Kの撮影現場/DITとは
9	報道中継と特殊な撮影機材の運用例
10	報道編集マンの仕事について
11	スポーツ中継映像とスポーツ ENG 映像の違いと役割
12	BS4K 放送について
13	マスター業務について
14	中継業務について
15	放送関連の技術会社への就業について
16	制作技術関連企業の研究
17	企業の説明会

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	103	科目名	マルチメディア工学概論		科目区分	専任	
科目群	教養	担当講師	水落 清治		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書				参考書			
成績評価							

1. 授業概要

デジタル画像や映像を扱う上で必要な知識として、各種記録媒体やインターフェース、光ディスクの種類やファイルの圧縮について学ぶ。

2. 到達目標

デジタルデータとそのインターフェースについて理解する。

3. 授業計画

前期	
1	画像と映像、アナログとデジタルの違い
2	解像度の理解、職種の理解
3	インターフェースの種類について①
4	インターフェースの種類について②
5	各種ファイルフォーマット①
6	各種ファイルフォーマット②
7	各種ファイルフォーマット③
8	記録媒体①
9	記録媒体②
10	記録媒体③
11	光ディスクの種類と仕組み①
12	光ディスクの種類と仕組み②
13	光ディスクの種類と仕組み③
14	次世代記録メディア①
15	次世代記録メディア②
16	前期まとめ、復習
17	定期試験
後期	
1	次世代記録媒体
2	静止画と音の圧縮①
3	静止画と音の圧縮②
4	動画の圧縮①
5	動画の圧縮②
6	著作権制度の概要
7	マルチメディア関連の著作権①
8	マルチメディア関連の著作権②
9	私的録音補償金制度
10	作品ビデオ鑑賞
11	著作権料や補償金の分配など
12	著作権保護機能（ダビング 10、CPRM など）
13	4K 技術のビデオ鑑賞
14	国際放送機器展レポート作成
15	試験前総復習①
16	試験前総復習②
17	定期試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	104	科目名	基礎演習		科目区分	非常勤	
科目群	教養	担当講師	高梨・斉藤		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教科書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題作品 50%、平常点 50%						

1. 授業概要

機材の使い方や管理状況を理解する。コミュニケーションスキルの向上と、効果的な「自己演出力（セルフプロデュース力）」を習得する

2. 到達目標

共同作業を行う際のコミュニケーション能力を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	「放送映像学科安全基準」をベースに、放送映像学科の撮影に関するルールの説明①
2	機材の説明・使い方①（ロケ用機材）
3	機材の説明・使い方②（ロケ用機材）
4	撮影許可や各種申請について
5	コミュニケーションの講義の主旨説明と導入・事前準備
6	情報収集力…その必要性と方法 敬語①〈5種類の説明〉
7	発想力①…発想力とは？ 敬語②〈尊敬語〉
8	発想力②…発想力のトレーニング（実践） 敬語③〈謙譲語〉
9	体験ワークショップ（半数ずつ）…漫才実習
10	創造力①…創造力とは？ 敬語④〈丁寧語〉
11	特別講義①（役者を招いて）表現力の実習
12	表現力①…表現の理論的理解→実際にやってみる 敬語⑤〈美化語〉
13	創造力②…オリジナル「脚本を書いてみる」もしくは「スピーチ原稿を作ってみる」敬語⑥予備
14	表現力②…オリジナル「脚本」もしくは「原稿」で表現してみる
15	セルフプロデュース自主課題 1
16	前期講義 総まとめ…総復習をして、整理して理解する
17	前期期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	105	科目名	一般教養講座 I		科目区分	兼任・非常勤	
科目群	教養	担当講師	菅野敬祐・麻生裕之		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	各授業でプリント配布			参考書			
成績評価	各課題提出 60%、課題の点数 30%、授業への貢献度 20%						

1. 授業概要

過去に学習した範囲の数学と漢字の復習し理解を深める。また、就職試験に必要な基礎学力を身に付ける。授業は演習形式で、各回オリジナルの課題で行う。

2. 到達目標

授業に必要な基礎学力の向上を図り、授業での理解度や予習・復習が出来るようになる。また、新聞記事を読んで設問に答えられる一般教養面も向上させる。

3. 授業計画

前期			
1	漢字：読み取り・書き取り①	数学：式の計算	読売ワークシート
2	漢字：読み取り・書き取り②	数学：多項式と単項式の乗除	読売ワークシート
3	漢字：形が似ている漢字	数学：乗法公式	読売ワークシート
4	漢字：同音異義語・同訓異字	数学：因数分解	読売ワークシート
5	漢字：敬語表現・熟語	数学：平方根	読売ワークシート
6	漢字：類義語・対義語	数学：1次方程式	読売ワークシート
7	漢字：ことわざ・慣用句	数学：連立方程式	読売ワークシート
8	漢字：三字熟語・四字熟語	数学：2次方程式	読売ワークシート
9	漢字：音読み・訓読み①	数学：2次方程式の活用	読売ワークシート
10	漢字：間違いやすい漢字①	数学：1次関数	読売ワークシート
11	漢字：学習漢字の音訓	数学：関数 $y = a \times 2$	読売ワークシート
12	漢字：熟語の成り立ち・読み方	数学：立体の表面積・体積	読売ワークシート
13	漢字：故事成語・名言格言	数学：平行線と角・相似	読売ワークシート
14	漢字：間違いやすい漢字②	数学：三平方の定理	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
16	期末試験		
17	試験解説、課題提出		

## 科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	106	科目名	一般教養講座Ⅱ		科目区分	兼任・非常勤	
科目群	教養	担当講師	菅野敬祐・麻生裕之		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	各授業でプリント配布			参考書			
成績評価	各課題提出 60%、課題の点数 30%、授業への貢献度 20%						

### 1. 授業概要

過去に学習した範囲の数学と漢字の復習し理解を深める。また、就職試験に必要な基礎学力を身に付ける。授業は演習形式で、各回オリジナルの課題で行う。

### 2. 到達目標

授業に必要な基礎学力の向上を図り、授業での理解度や予習・復習が出来るようになる。また、新聞記事を読んで設問に答えられる一般教養面も向上させる。

### 3. 授業計画

後期			
1	漢字：一字漢字の読み・書き①	数学：多項式の乗法・公式	読売ワークシート
2	漢字：一字漢字の読み・書き②	数学：式の展開・因数分解	読売ワークシート
3	漢字：一字漢字の読み・書き③	数学：根号を含む式の乗法	読売ワークシート
4	漢字：熟語の読み・書き①	数学：根号を含む式の計算	読売ワークシート
5	漢字：熟語の読み・書き②	数学：2次方程式とその解	読売ワークシート
6	漢字：熟語の読み・書き③	数学：2次方程式の解き方	読売ワークシート
7	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：2次方程式の利用	読売ワークシート
8	漢字：誤りやすい読み・書き	数学：関数 $y = ax^2$ ・グラフ	読売ワークシート
9	漢字：同訓異字・同音異義語	数学：2次関数の変域・変化の割合	読売ワークシート
10	漢字：二字熟語	数学：放物線と直線	読売ワークシート
11	漢字：三字熟語	数学：相似な図形・相似の利用	読売ワークシート
12	漢字：四字熟語	数学：相似な図形の面積比・体積比	読売ワークシート
13	漢字：類義語	数学：円周角の定理・利用	読売ワークシート
14	漢字：対義語	数学：三平方の定理・利用	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
16	期末試験		
17	試験解説、課題提出		

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	107	科目名	海外研修		科目区分		
科目群	教養	担当講師	校長		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	無し			参考書	無し		
成績評価	報告書 100%						

1. 授業概要

年度末の3月に海外へ10日間の語学研修を実施
------------------------

2. 到達目標

知識見聞を広め、グローバル社会を理解する。
-----------------------

3. 授業計画

後期	
1	<p>【研修内容】 前々年度実績 変更有</p> <p>渡航予定地 オーストラリア アデレード</p> <p>研修先 ENGLISH COLLEGE OF ADELAIDE</p> <p>語学研修時間 9:00~16:00 6時間×5日間 のべ30時間</p> <p>宿泊 9日間 ホストファミリー宅</p> <p>単位認定に係わる認定時間 語学研修 30時間 文化交流 90時間 120時間</p> <p>学校としての成績評価 評価は報告書内容による</p> <p>学校としての単位認定基準 帰国後3週間以内に報告を提出した者 認定単位 2単位</p>

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	108	科目名	日本語講座		科目区分	兼任	
科目群	教養	担当講師	小野 恭子		履修区分	選択	
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書			
成績評価	試験 70%、小テスト 10%、提出物 10%、授業への貢献度 10%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。

2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	漢字・語彙・文法（1.自動詞・他動詞／1.助詞①）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.複合動詞①／2.助詞②）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.複合動詞②／3.接続表現①）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.する動詞／4.接続表現②）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.意味のある動詞／5.受身・使役・使役受身）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.い形容詞／6.文末表現）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.な形容詞／7.敬語①尊敬語）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.対義語①／8.敬語②謙譲語）、読解問題
10	漢字・語彙・文法（9.対義語②／9.敬語③丁寧語・美化語）、聴解問題
11	漢字・語彙・文法（10.副詞／10.敬語④）、読解問題
12	漢字・語彙・文法（11.擬音語・擬態語／JLPT 対策問題）
13	漢字・語彙・文法（12.カタカナ語①／JLPT 対策問題）
14	漢字・語彙・文法（13.カタカナ語②／JLPT 対策問題）
15	期末テスト対策
16	期末試験
17	試験対策、課題提出
後期	
1	漢字・語彙・文法（1.漢字読み・表記／1.文の文法1）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.漢字読み・表記／2.文の文法1）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.文脈規定（動詞・名詞）／3.文の文法2）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.文脈規定（形容詞）／4.文の文法2）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.言い換え類義（動詞・名詞）／5.文章の文法3）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.言い換え類義（形容詞・副詞）／6.文章の文法3）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.用法（動詞・名詞）／7.文法形式まとめ）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.用法（動詞・名詞）／8.文法形式まとめ）、読解問題
10	漢字・語彙・文法（9.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）、聴解問題
11	漢字・語彙・文法（10.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）、読解問題



1 2	総合問題
1 3	総合問題
1 4	総合問題
1 5	期末テスト対策
1 6	期末試験
1 7	試験解説、課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」 前期

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」 前期				学科名	放送映像学科
科目番号	109	科目名	社会人教養講座 I		科目区分
科目群	教養	担当講師	天野 誠一		履修区分
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2
教科書	使用しない		教材・参考資料 適宜、資料配布		
成績評価	課題提出、授業態度他				

1. 授業概要

世界を震撼させたコロナ禍は、なお衰えておらず、現代の社会のあり方に変革を迫っている。これから社会人としての一歩を踏み出す学生の皆さんは、特に、コロナ禍に伴う社会構造の急激な変化について正しい知識と冷静な判断力が求められている。ネット社会の弱さ・危険性を踏まえ、私たちは、どう生きていけばいいのか、一緒に考えていきたい。

講師の読売新聞社中部支社での新聞記者としての知識と経験を通して、社会の情勢や時事問題など講義と共に、実践的な文書作成の知識などから学ぶ。

2. 到達目標

自分を見つめ、自分の目指す方向をしっかりと定め、自分自身の方法で表現していく。仕事、友人、家族との関係を手がかりに、社会に参画する方法を見つけ出していく。

3. 授業計画

前期1	2021年とはどのような年か。世界の人口は78億人だが、日本をはじめ先進国は人口減少時代
2	働110き方改革とは何か 働くことの意味、仕組みを学んでいく。
3	厚生労働省のテキスト1
4	厚生労働省のテキスト2
5	厚生労働省のテキスト3
6	厚生労働省のテキスト4
7	厚生労働省のテキスト5
8	厚生労働省のテキスト6
9	厚生労働省のテキストまとめ
10	社会の仕組み 雇用保険 健康保険
11	ブラック企業とは何か
12	危機管理の重要性
13	個人情報とは何か
14	ハラスメントはどこにでもある
15	新聞報道と民主主義
16 <sup>※1</sup>	消費者教育「社会への扉」1
17 <sup>※1</sup>	消費者教育「社会への扉」2

※1 オンデマンド、文献調査または特別講義（消費者庁）

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」 後期					学科名	放送映像学科	
科目番号	110	科目名	社会人教養講座Ⅱ		科目区分	非常勤	
科目群	教養	担当講師	天野 誠一		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	使用しない			教材・参考資料 適宜、資料配布			
成績評価	課題提出その他						

### 1. 授業概要

世界を震撼させたコロナ禍は、なお衰えておらず、現代の社会のあり方に変革を迫っている。これから社会人としての一歩を踏み出す学生の皆さんは、特に、コロナ禍に伴う社会構造の急激な変化について正しい知識と冷静な判断力が求められている。ネット社会の弱さ・危険性を踏まえ、私たちは、どう生きていけばいいのか、一緒に考えていきたい。

講師の読売新聞社中部支社での新聞記者としての知識と経験を通して、社会の情勢や時事問題など講義と共に、実践的な文書作成の知識などから学ぶ。

### 2. 到達目標

自分を見つめ、自分の目指す方向をしっかりと定め、自分自身の方法で表現していく。仕事、友人、家族との関係を手がかりに、社会に参画する方法を見つけ出していく。

### 3. 授業計画

後期1	人類の歴史 宇宙の歴史 物の見方
2	自分を表現する。自己紹介 エントリーシート、ポケット
3	作文のやさしい書き方 入門
4	レポート メモ 手紙
5	自己アピールのポイント 古里 趣味 家族
6	会社の選び方
7	いい会社と悪い会社 会社選びの10問
8	面接をする側の気持ち、される側の気持ち
9	作文のやさしい書き方 応用編
10	社会の仕組み 年金 税金
11	失敗から学ぶ ミスの原因
12	コロナ禍と各国の対応 どのように生きるか
13	自分の国をどうアピールするか
14	情報の信頼性 正しい情報はどこから得られるか
15	全体まとめ
16 <sup>※2</sup>	最低限身に付けるべき金融リテラシー1
17 <sup>※2</sup>	最低限身に付けるべき金融リテラシー2

※2 オンデマンド、文献調査または特別講義（金融庁）

## 科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	201	科目名	スタジオ実習 I		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	榎本 悟・斎藤孝行・菅谷正之		履修区分	必修	
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	8	授業形態	実習
教科書	講師作成資料			参考書			
成績評価	出席回数 20%、レポート提出 20%、筆記テスト 20%、実技テスト 20%、講師評価 20%						

### 1. 授業概要

番組制作時のテレビ業界の基礎用語や常識、ルールを理解する。また、スタジオ業務の基礎知識を習得する。この授業では、教員のスタジオでの技術スタッフを統括する立場であるテクニカルディレクターの実務経験を活かし、学生がスタジオでの番組制作の一連の手順や留意すべき事項をより実務的に習得する事が可能。

### 2. 到達目標

2年次の実習に対応出来るよう基礎技術を習得する。

### 3. 授業計画

前期	
1	自己紹介 授業の説明 職種説明 安全について スタジオ機材説明。
2	カメラ映像についての座学 スタジオカメラ実践体験。
3	照明概論 照明機器説明 サブ機材実践体験 (SW ミキサー 照明卓 CG) 八の字巻実習。
4	ペDESTALカメラ実習 (ドリー ズーム フォーカス) ハンディーカメラ体験 音声ミキサー卓実習 (マイク 音出し)
5	CAM SW 体験 (自己紹介を兼ねたインタビュー形式の対談でスイッチングを体験)
6	CAM SW 実習 (詩の朗読 音楽再生でカット/オーバーラップ練習)
7	CAM SW 実習 (ランウェイウォークでカット/オーバーラップ/ワイプで複合練習・カメラワーク強化)
8	番組制作体験実習 (旗揚げゲーム、床で神経衰弱でゲーム感覚で実習)
9	番組制作体験実習 (叩いてかぶってジャンケンポン、椅子取りゲームでゲーム感覚で実習)
10	これまでのまとめ 反省 プレビュー ディスカッション 総合実習に向けてのプラン作り
11	総合実習・トーク番組 SW 強化実習・ライティング強化実習
12	総合実習・通販番組 音声強化実習・CG 実習 (特に人物の動きのある内容で検討)
13	総合実習・ワイドショー番組 (スタジオ MC パネラー/リモート中継リポーター ゲスト)
14	実技テスト準備 対策 補習
15	実技テスト カメラ
16	実技テスト 照明
17	実技テスト 総合
後期	
1	前期振り返り 後期プラン 照明強化実習
2	サブ機材強化 八の字巻強化 照明強化実習
3	ペDESTALワーク強化 ジブワーク体験 音声 ミキサー卓強化
4	ハンディーカメラ強化番組実習 音声 ミキサー卓強化
5	ジブワーク強化番組実習 音声 ミキサー卓強化
6	総合番組制作実習 1 プラン
7	総合番組制作実習 1 リハーサル
8	総合番組制作実習 1 本番
9	総合番組制作実習 1 反省 総括
10	総合番組制作実習 2 プラン
11	総合番組制作実習 2 リハーサル
12	総合番組制作実習 2 本番
13	総合番組制作実習 2 反省 総括
14	総合補習
15	期末試験対策
16	期末試験

17	期末試験					学科名	放送映像学科
科目の教育目標・授業計画 「2021年度」						科目区分	実務経験教員
科目番号	202	科目名	音声実習			科目区分	実務経験教員
科目群	専門	担当講師	荒井 吉春			履修区分	選択必修
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への関心度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

### 1. 授業概要

テレビ番組における音声の收音方法を基本的な機器操作や技術を習得し、講師の経験から各種番組のノウハウを理解する

### 2. 到達目標

学生全員が音声を担当しても困らない水準の音声技術を習得する

### 3. 授業計画

前期	
1	録音とは、マイクとは、ケーブルの種類を説明
2	各種音声コネクターの説明とケーブルの巻き方の指導
3	マイクとポータブルミキサーの操作方法の解説
4	ポータブルミキサーミキシング実習 1
5	ポータブルミキサーミキシング実習 2
6	スタジオの音声機器の解説と各機器の操作方法
7	音声調整卓の操作方法の説明
8	音声調整卓の操作実習
9	ポータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 收音の実習 1
10	ポータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 收音の実習 2
11	ポータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 收音の実習 3
12	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 1
13	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 2
14	ミキサーの使い方まとめ
15	前期のまとめ①
16	前期のまとめ②
17	前期期末試験
後期	
1	スタジオブームドリーの使用方法の実習
2	Boom(竿)での收音の解説とドラマでの台詞の録音実習 1
3	Boom(竿)での收音の解説とドラマでの台詞の録音実習 2
4	番組での N-1 の作り方を音声調整卓にて作る実習 1
5	番組での N-1 の作り方を音声調整卓にて作る実習 2
6	音楽番組スタジオ実習(カラオケでの PA とボーカル録り)
7	CM の企画実習
8	CM の撮影および素材作り実習
9	CM のナレーション取り実習 1
10	CM のナレーション取り実習 2
11	CM の MA(SE 入れ込み、選曲)実習 1
12	CM の MA(SE 入れ込み、選曲)実習 2
13	実習総括音楽番組 MA(トラックダウン)実習 1
14	実習総括音楽番組 MA(トラックダウン)実習 2
15	後期まとめ
16	総復習

17	後期期末試験					学科名	放送映像学科
科目の教育目標・授業計画 「2021年度」						科目区分	実務経験教員
科目番号	203	科目名	ノンリニア編集			科目区分	実務経験教員
科目群	専門	担当講師	植竹邦央 山道源喜			履修区分	選択必修
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教科書				参考書			
成績評価	後期実技試験と出席率を加味し総合評価						

### 1. 授業概要

1	段階的な映像編集の実習を通して基礎の編集技術を身につけ、映像への興味を養う
2	現役編集者の実技指導によって、編集の面白さと楽しさ、そして難しさを知り、専門職への夢を持たせる
3	映像を編集することにより構成能力、表現能力、感受性を磨く

### 2. 到達目標

映像を編集する為の構成能力、表現能力、感受性が向上する。
------------------------------

### 3. 授業計画

前期	
1	編集ブースの割り振り、基本的な用語の説明、編集機の取り扱い
2	カラーバーやクレジットの作成および編集機の取り扱い
3	レベル1「カフェテラス」2カットを編集する 編集機の取り扱いに慣れる
4	レベル2「スマホで電話」4カットを編集する
5	レベル2「スマホで電話」4カットを編集する
6	レベル2「スマホで電話」4カットを編集する
7	レベル3「カフェテラス ロング ver」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する
8	レベル3「カフェテラス ロング ver」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する
9	レベル3「ランチ」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する（復習）
10	レベル3「ランチ」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する（復習）
11	レベル4 レベル2・3の3種類の素材を使ってシーンの変わり目とシーケンスを意識する
12	レベル4 レベル2・3の3種類の素材を使ってシーンの変わり目とシーケンスを意識する
13	レベル4 レベル2・3の3種類の素材を使ってシーンの変わり目とシーケンスを意識する
14	レベル5「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間30分で終了を目指す）
15	レベル5「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間30分で終了を目指す）
16	レベル5「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間30分で終了を目指す）
17	編集技術前期総合トレーニング
後期	
1	レベル6 「彼岸花」素材を使って作品のテーマと映像の関係
2	レベル6 「彼岸花」素材を使って作品のテーマと映像の関係
3	レベル7 「イルミネーション」素材を使ってレポート編集トレーニング
4	レベル8 「彼岸花」レポート形式による編集（BGM使用）
5	レベル8 「彼岸花」レポート形式による編集（BGM使用）
6	レベル8 「彼岸花」レポート形式による編集（BGM使用）
7	レベル9 「バンジージャンプ」 レポート形式による編集
8	レベル9 「バンジージャンプ」 レポート形式による編集
9	レベル9 「バンジージャンプ」 レポート形式による編集
10	レベル9 「バンジージャンプ」 レポート形式による編集
11	レベル10「雪の大谷」 レポート形式による編集
12	レベル10「雪の大谷」 レポート形式による編集
13	レベル10「雪の大谷」 レポート形式による編集
14	レベル10「雪の大谷」 レポート形式による編集
15	レベル10「雪の大谷」 レポート形式による編集
16	編集技術総合振り返り
17	実技試験

## 科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	204	科目名	ENGロケ取材基礎		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	内田 幹夫		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	実習
教科書	映像制作ハンドブック			教材・参考書			
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

### 1. 授業概要

ENGカメラ、3CHミキサー、取材照明などの機材、操作を理解し、基本的な撮影技術を習得する。

### 2. 到達目標

基本的なENG取材の撮影、収録、照明の技術を習得する

### 3. 授業計画

前期	
1	【ガイダンス】受講心得の説明 ENG解説
2	【ENG概念】撮影機材（カメラ及び三脚）の構造と取り扱い方法 基本である5W1Hの解説
3	【撮影基礎①】色温度及びTC(タイムコード)説明
4	【撮影基礎②】実習後撮影素材評価 基本的なカメラオペレーションの習熟訓練実施
5	【撮影基礎③】カメラの詳細設定の説明
6	【撮影基礎④】撮影実習 ～テーマに沿った題材を撮影し「伝える」ことを理解する～
7	【撮影基礎⑤】実習後撮影素材評価 カメラオペレーションの更なる向上のため習熟訓練実施
8	【照明基礎①】取材時の基本照明
9	【照明基礎②】照明実習 インタビュー時照明
10	【録音基礎①】ガンマイク及び3CHミキサーの取り扱い方法
11	【録音基礎②】ガンマイク及び3CHミキサーの取り扱い方法 ENGカメラとの結線
12	【総合基礎①】撮影実習 ～テーマに沿った題材を撮影し確実に「伝わる」表現を習得する～
13	【総合基礎②】撮影実習 ～新聞や絵画を撮影して静態描写を理解する～
14	【総合基礎③】実習後撮影素材評価 カメラ及びミキサーオペレーションの更なる向上のため習熟訓練実施
15	【試験対策①】筆記試験における補足解説
16	【試験対策②】実技試験における補足解説
17	【期末試験】

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	205	科目名	ENGロケ取材実習		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	内田 幹夫		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	実習
教科書	映像制作ハンドブック			教材・参考書			
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

1. 授業概要

前期に学んだ技術をさらに向上させ、テーマ、主題に沿った自分の考えを伝える
--------------------------------------

2. 到達目標

作品の制作過程でよく考えて、制作者として作品を完成することで、伝える事のできる技術者となる
---

3. 授業計画

後期	
1	【考査の解説】前期試験について狙いと解説 カメラレゾリューションの習熟訓練実施
2	【総合実習①】撮影実習 業務用小型カメラ及び三脚の構造と取り扱い方法
3	【総合実習②】撮影実習 ～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅰ～
4	【総合実習③】撮影実習 ～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅱ～
5	【総合実習④】撮影実習 ～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅲ～
6	【総合実習④】撮影実習 ～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅳ～
7	【総合実習⑤】撮影実習 ～収録プレビュー・ワーク時に諸注意～
8	【総合実習⑥】撮影実習 ～コンテスト企画番組制作 企画会議・ロケハン～
9	【総合実習⑦】撮影実習 ～コンテスト企画番組制作 取材Ⅰ～
10	【総合実習⑧】撮影実習 ～コンテスト企画番組制作 取材Ⅱ～
11	【総合実習⑨】撮影実習 ～コンテスト企画番組制作 取材Ⅲ～
12	【総合実習⑩】撮影実習 ～コンテスト企画番組制作 取材Ⅳ～
13	【総合実習⑪】撮影実習 ～作品鑑賞及び品評～
14	【2年次対応】撮影、音声収録、照明の基本確認
15	【試験対策①】筆記試験における補足解説
16	【試験対策②】実技試験における補足解説
17	【 期末試験 】



科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	206	科 目 名	コンテンツ制作 I		科目区分	専任	
科 目 群	専門	担当講師	大野紗耶子、水落清治		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題作品 50%、平常点 50%						

1. 授業概要

パソコンを用いた実習で、放送映像学科で用いるアプリケーションソフトの基本的な使い方を学ぶ。

2. 到達目標

放送機材の基本的な取扱い方とパソコンの基本操作ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	「放送映像学科安全基準」をベースに、放送映像学科の撮影に関するルールの説明①
2	教材配布と使い方・撮影許可や各種申請について
3	Photoshop の操作概要
4	フォトレタッチ操作① 切り抜き操作、選択の操作、コピースタンプツールの活用
5	フォトレタッチ操作② 人物の写真の修正 (ほくろ、しみ)、写真サイズの修正
6	フォトレタッチ操作③ 色の調整や変更
7	フォトアート作成① レイヤの理解と活用、CDジャケット制作
8	フォトアート作成② フィルタ効果について
9	Illustrator の基本操作 パーツの合成機能などを用いてイラストを描く
10	Illustrator の基本操作 整列機能等を用いてイラストを描く
11	Illustrator の基本操作 パスの使い方
12	Photoshop と Illustrator の連携
13	Illustrator で学園祭の広告作成①
14	Illustrator で学園祭の広告作成②
15	After Effects の基本操作 Photoshop で切り抜いた素材を読み込み動かす①
16	After Effects の基本操作 Photoshop で切り抜いた素材を読み込み動かす②
17	After Effects の基本操作 Photoshop で切り抜いた素材を読み込み動かす③

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	207	科目名	コンテンツ制作Ⅱ		科目区分	専任	
科目群	専門	担当講師	大野紗耶子、水落清治		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題作品 70% 平常点 30%						

1. 授業概要

Photoshop、Illustrator、After Effects の使用方法を正しく理解する。

2. 到達目標

映像コンテンツの素材が作成できるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	開講なし
後期	
1	After Effects を用いての総合作品制作① 動画・静止画の使用 人物を消す
2	After Effects を用いての総合作品制作② 動画・静止画の使用 エフェクトを用いる
3	After Effects を用いての総合作品制作③ 動画・静止画の使用 ドラマで使える合成①
4	After Effects を用いての総合作品制作④ 動画・静止画の使用 ドラマで使える合成②
5	After Effects を用いての総合作品制作⑤ 動画・静止画の使用 ドラマで使える合成③
6	After Effects を用いての総合作品制作⑥ 動画・静止画の使用 ドラマで使える合成④
7	Adobe Premiere Pro の基本操作①映像のカットの仕方
8	Adobe Premiere Pro の基本操作②テロップの挿入方法
9	Adobe Premiere Pro の基本操作③エフェクトの適用
10	Adobe Premiere Pro を用いて1分程の映像作品を編集①
11	Adobe Premiere Pro を用いて1分程の映像作品を編集②
12	Adobe Premiere Pro を用いて1分程の映像作品を編集③
13	複数の動画の合成① 光線のエフェクトの作成
14	複数の動画の合成② 人物の動きに合わせたエフェクトの作成①
15	複数の動画の合成③ 人物の動きに合わせたエフェクトの作成②
16	アプリケーション操作総合トレーニング1
17	アプリケーション操作総合トレーニング2

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	放送映像学科
科目番号	208	科目名	企画演出論	科目区分	実務経験教員
科目群	専門	担当講師	小中 和哉	履修区分	選択必修
開講学年		開講学期		授業形態	講義
教科書	なし		参考書		
成績評価	筆記試験 90%平常点や授業への貢献度 10%				

1. 授業概要

演出技法の解説をした後にその技法が使われている映画の1シーンを見せて、現場ですぐに生かせる技術を身に付ける。参考作品を見せて分析・解説して映像作品への理解を深める。リモート授業でも伝わるよう、テキストを用意する。

2. 到達目標

放送番組のスタッフとして、最低限知っておくべき映像演出の技法を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	演出とは何か？制作現場において演出家が持つ役割、責任
2	カメラポジション、アングル、サイズ
3	基本のカメラワーク①カメラワーク（パン）
4	基本のカメラワーク②カメラワーク（ズーム）
5	基本のカメラワーク③カメラワーク（移動、クレーン）
6	基本のカメラワーク④レンズとフォーカス（広角と望遠、被写界深度）前編
7	基本のカメラワーク⑤レンズとフォーカス（広角と望遠、被写界深度）後編
8	編集の基本①（モンタージュ論、カットつなぎの方法）
9	編集の基本②（様々な編集リズム、マジナリーライン）
10	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）①
11	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）②
12	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）③
13	照明の基本（ライティングによる演出効果）
14	色彩の演出、作品のルック
15	前期末試験
16	音響演出の基本（SEと音楽）②
17	前期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	209	科目名	企画演出実習		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	小中 和哉		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教科書	なし			参考書			
成績評価	課題提出される脚本、企画書、構成案、スケジュール表の評価平均点 90%及び平常点や授業への貢献度 10%						

1. 授業概要

テレビ番組、映画の制作で使われる企画書、脚本、構成案、スケジュール表などを作成できる能力を身に付ける。リモートで行う。

2. 到達目標

希望職種に関わらず企画制作の過程を理解する。直接学生と接することができない中で、添削をしっかりとやる。

3. 授業計画

前期	
1	脚本実習① 小説からシナリオ形式に書き起こす 解説
2	シナリオ書き
3	実際のシナリオとの比較 作品鑑賞
4	脚本実習② 決まったプロットから自分でシナリオを書く 解説
5	シナリオ書き①
6	シナリオ書き②
7	企画書実習 解説
8	企画書作り①
9	企画書作り②
10	字コンテ実習 解説
11	字コンテ書き①
12	字コンテ書き②
13	画コンテ実習 解説
14	画コンテ書き①
15	画コンテ書き②
16	
17	
後期	
1	スケジュール表実習 解説
2	スケジュール表書き①
3	スケジュール表書き②
4	制作シミュレーション実習 脚本分析
5	本読み
6	立ち稽古
7	コンテ書き①
8	コンテ書き②
9	カメラワーク実習①
10	カメラワーク実習②
11	カメラワーク実習③
12	カメラワーク実習④
13	作品鑑賞①
14	作品鑑賞②
15	作品解説
16	後期実習総合課題 1



科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	210	科目名	編集理論		科目区分	非常勤	
科目群	専門	担当講師	高橋 巖		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書				参考書			
成績評価							

1. 授業概要

現役編集者の講義により映像編集に関する基礎知識を学び、編集の面白さと奥深さを理解する

2. 到達目標

編集専門職の業務内容を理解する。

3. 授業計画

前期		
1	開講なし	
後期		
1	日常における編集	文化は編集である
2	ショットとカット	演出と編集の関係
3	編集の歴史	フィルムからデジタルへ
4	編集の倫理①	編集の作用
5	編集の倫理②	プロパガンダ
6	カットポイント	伝達のためのリズムと間
7	画と音	自然に見える不自然さ
8	モンタージュ 1	発明と発達
9	モンタージュ 2	シンボルとメタファー
10	編集技法 1	時空の構成
11	編集技法 2	エフェクトの意味
12	編集技法 3	形や動きの活用
13	サウンド編集 1	台詞と音楽と効果音の関係
14	サウンド編集 2	フォーリーアーティスト
15	編集理論まとめ	
16	総復習	
17	試験	

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	放送映像学科		
科目番号	0211	科目名	インターンシップ		科目区分	企業実習	
科目群	教養	担当講師	水落 清治		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	実習
教科書	無し			参考書	無し		
成績評価	報告書 60% 報告会発表 20% 受入れ企業評価 20%						

1. 授業概要

夏季休業を含む後期 2～3 週間程度を目安に、日本テレビ関連ならびに番組制作会社において、カメラ・照明・音声・編集に関し実際の現場で業務を体験することで各職種を理解する。

2. 到達目標

授業で学ぶことがいかに大切なのかが理解でき、2 年次のコース選択ならびに卒業後の進路決定につながる。

3. 授業計画

後期	
1	<p><b>【研修内容】</b></p> <p>研修先 映像制作関連企業</p> <p>研修期間 7 日間を基本として最大 14 日間</p> <p>研修時間 8：00～17：00 (受入れ企業・制作番組による) 8 時間×7 日間</p> <p>単位認定に係わる認定時間 研修時間+報告書作成時間+発表時間 120 時間</p> <p>学校としての成績評価 評価は報告書内容による</p> <p>学校としての単位認定基準 修了後 3 週間以内に報告を提出し、報告会に参加</p> <p>学校としての認定単位 4 単位</p>

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	212	科目名	技術基礎		科目区分	専任	
科目群	専門	担当講師	鈴木 和弘		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	講師作成テキスト			参考書			
成績評価	筆記試験 100%						

1. 授業概要

電気基礎や基礎単位を理解することにより、映像、音声、照明などの仕組みと放送機材全般に関連する操作や監視に必要な基礎知識を学ぶ

2. 到達目標

新しい映像音響技術について容易に理解できるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	電気基礎ガイダンス、S I 単位系について。
2	電気関連のS I 単位と、単位に関わる接頭語について。
3	明かりの単位 ルクス、カンデラ、ルーメン
4	光源の色温度
5	直流と電圧 電位 1次電池 2次電池
6	直流と交流電源の特徴
7	周波数と周期
8	電気回路基礎 Ωの法則 序説
9	直列閉回路 並列閉回路
10	抵抗回路の基礎、合成抵抗、電圧分割、消費電力
11	電気回路における記号の基礎。
12	電子部品 コンデンサ、半導体、LED、変圧器。
13	デジタルデータ・アナログデータの概念
14	アナログデジタル変換と2進法
15	デジタルの基礎 デジタルデータの単位 2進法 16進法 10進法
16	技術基礎 前期レビュー。
17	期末試験
後期	
1	技術基礎試験問題解説。
2	信号の伝送に要する線数と不平衡・平衡回路
3	映像音声機器間の信号接続 1
4	映像音声機器間の信号接続 2
5	音声信号のAD変換
6	音波の速度
7	デシベルの概念について。
8	デシベルの応用と例題の解説。
9	電気音響技術でのデシベル応用
10	音響の基礎。
11	スタジオ音響とホール音響 設計について
12	電波の種類と特徴。地上波デジタル放送
13	電波の周波数帯域 BS 4K8K 放送
14	電波と変調の技術
15	技術基礎後期レビュー
16	技術基礎 総括
17	期末試験



## 科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	213	科目名	放送技術概論		科目区分	専任	
科目群	専門	担当講師	鈴木 和弘		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	ポストプロダクション技術マニュアル		参考書	講師作成テキスト			
成績評価	筆記試験 100%						

### 1. 授業概要

テレビジョンの基本原理及びデジタル映像信号、放送機材の基本的な仕組みを理解する。

### 2. 到達目標

放送分野の制作業務に必要な、様々な基礎的知識を習得する。

### 3. 授業計画

前期	
1	放送概論ガイダンス。
2	動画の原理、テレビジョンの基本原理。
3	走査線の概念と同期信号。
4	光と色彩の知識、色温度について。
5	色の3原色と3属性について
6	レンズの基礎
7	レンズの知識(絞り)。
8	レンズの知識(被写界深度)。
9	カメラ内での信号処理について (撮像素子、ガンマ)。
10	カメラ内での信号処理について (ホワイトバランス、ニー、ホワイトクリップ、ディテール)。
11	映像信号の基礎。
12	世界各地の放送規格について
13	コンポーネント信号、コンポジット信号について
14	SD信号とHD信号の特徴について
15	前期放送概論レビュー。
16	前期放送概論レビュー
17	前期期末試験
後期	
1	放送概論試験問題解説。
2	デジタルビデオ信号の仕組みについて。
3	放送用モニタ、波形モニタについて。
4	VTRに関する基礎と映像音声データ基礎
5	映像音声データ運用に関する知識
6	タイムコードの基礎知識。
7	スイッチャーと映像特殊効果について。
8	ゲンロック (同期結合) の概念。
9	信号用コネクター盤について、パッチ盤の仕組み。
10	映像関連の信号処理機材について。
11	インカムシステムの仕組みについて。
12	ミキシングコンソールとオーディオエフェクターの概要
13	デジタルミキサとアナログミキサの特徴について。
14	映画フィルムからビデオへの変換技術、デジタルシネマの概要。
15	デジタルシネマとテレビ放送の技術的な差異について
16	後期放送概論レビュー
17	後期期末試験

## 科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	214	科目名	テレビ音声		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	荒井 吉春		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	なし			参考書			
成績評価	常点や授業への貢献度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

### 1. 授業概要

テレビ音声の役割を理解させ他の部署との協調性を常に保つよう指導して音声の基礎と機器の操作方法を習得する

### 2. 到達目標

テレビ音声の業務内容と技術を理解する

### 3. 授業計画

前期	
1	テレビ音声とはどのような科目なのかを具体的に説明
2	テレビにおける音声の役割と仕事の解説
3	ケーブルとコネクタ、収録機(VTR等)の説明
4	マイクロフォンの種類および使い方の説明
5	ポータブルミキサーの使い方の説明 1
6	ポータブルミキサーの使い方の説明 2
7	スタジオ音声機器の説明
8	スタジオ音声機器の使い方の解説
9	パッチベイの説明
10	音声調整卓の説明
11	音声調整卓の使い方
12	ENGの音声の仕事 1
13	ENGの音声の仕事 2
14	前期のまとめ 1
15	前期のまとめ 2
16	期末試験
17	前期総括
後期	
1	ENGの音声の仕事 2
2	ENGの音声の仕事 3
3	ドラマの音声 1
4	ドラマの音声 2
5	情報番組の音声 1
6	情報番組の音声 2
7	中継番組の音声 1
8	中継番組の音声 2
9	音楽番組の音声 1
10	音楽番組の音声 2
11	PAの説明とスタジオにおける簡易PA
12	ポスプロにおいての音声
13	MA 1
14	MA 2
15	後期まとめ 1
16	後期まとめ 2

17	期末試験					学科名	放送映像学科
科目の教育目標・授業計画 「2021年度」						科目区分	実務経験教員
科目番号	215	科目名	スタジオ実習 II			科目区分	実務経験教員
科目群	専門	担当講師	高梨、鈴木、斎藤、加藤 他			履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	8	授業形態	実習
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業の貢献度 65% 番組制作課題作品の評価 35%						

### 1. 授業概要

実習毎に設定されるテーマに応じて番組制作をグループ毎に行い、より実践的なスタジオ番組制作技術を習得する。この授業では、教員のテレビ番組のカメラマンやスイッチャーの実務経験を活かし、学生が生放送のテレビ番組制作に必要な事項を、より実務的に習得することが可能。

### 2. 到達目標

テレビ番組制作に関わる人材として通用する技能と意識を身に付ける

### 3. 授業計画

前期	
1	自己紹介をして、自己紹介のVTRを収録する。
2	ケーブルの巻き方、カメラのレンズの脱着の仕方を学ぶ。
3	人物を撮るときのサイズを学ぶ。
4	人物への照明の当て方、音の取り方を学ぶ。
5	一人しゃべりの撮影の仕方を学ぶ。
6	二人対談の撮り方や照明のあて方を学ぶ。
7	三人対談の撮り方、照明のあり方
8	四～六人の対談の撮り方、音の取り方、照明のあて方を学ぶ。
9	銅像を使って照明の当て方、カメラワークの仕方。
10	クレーンを作ってクレーンワークの仕方を学ぶ。
11	歌番組を制作して、カメラ、音声、照明のレベルアップを計る。
12	紙芝居を撮影する①
13	紙芝居を撮影する②
14	紙芝居を撮影する③
15	クロマキーの合成技術を学ぶ
16	前期まとめ 総復習①
17	前期まとめ 総復習②
後期	
1	歌番組を撮影する。
2	オリジナル番組を作る①
3	オリジナル番組を作る②
4	リモート番組を作る
5	UNOの取り方を学ぶ①
6	UNOの取り方を学ぶ②
7	料理番組を企画準備する
8	料理番組を撮影する
9	生放送の企画、準備①
10	生放送の企画、準備②
11	生放送の撮影
12	学校CM企画、準備①
13	学校CM企画、準備②
14	学校CM撮影
15	今まで制作した番組のレビュー
16	ペDESTALの動かし方を復習する。



## 科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	216	科目名	デジタルエフェクト		科目区分	非常勤	
科目群	専門	担当講師	大和 拓		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態	実習
教科書				参考書			
成績評価	課題作品評価 60%平常点や授業への貢献度 40%						

### 1. 授業概要

アフターエフェクツ（アプリケーション）を使った映像表現の技術を習得する。

### 2. 到達目標

デジタル映像処理の基礎を理解し、作品づくりの基礎と心構えを習得する。

### 3. 授業計画

前期	
1	授業内容のガイダンス。基礎知識確認。
2	AE 基本操作解説。
3	AI 基礎技術練習。練習課題 1 時計。
4	練習課題 1 時計続き。
5	AI 基礎技術練習。練習課題 2 観覧車。
6	練習課題 2 観覧車続き。
7	練習課題 2 観覧車続き。
8	PS 基礎技術練習。練習課題 3 踊る名前。
9	課題 4 走る動物。
10	課題 4 走る動物続き。
11	課題 4 走る動物続き。
12	課題 4 走る動物続き。
13	AE 基礎技術解説。練習課題 5 惑星と衛星。
14	AE 基礎技術解説。練習課題 6 箱。
15	練習課題 6 箱続き。
16	自由制作
17	自由制作
後期	
1	練習課題 7 光る剣
2	練習課題 7 光る剣。続き。
3	練習課題 7 光る剣。続き。
4	エフェクト解説。
5	課題 8 フットサルチーム紹介。
6	課題 8 フットサルチーム紹介。続き。
7	課題 8 フットサルチーム紹介。続き。
8	課題 8 フットサルチーム紹介。続き。
9	課題 8 フットサルチーム紹介。続き。品評会。
10	課題 1 1 架空のテレビ番組オープニング。
11	課題 1 1 架空のテレビ番組オープニング。続き。
12	課題 1 1 架空のテレビ番組オープニング。続き。
13	課題 1 1 架空のテレビ番組オープニング。続き。
14	課題 1 1 架空のテレビ番組オープニング。続き。
15	品評会。総括。
16	自由制作
17	品評会。総括。

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	217	科目名	撮影技術実習		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	荒井 吉春		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

1. 授業概要

テレビ番組における撮影技術と音声の集音方法の為の機器操作や技術を習得する

2. 到達目標

ドラマ制作におけるの撮影方法、録音方法やMAの技術を身に付ける

3. 授業計画

前期	
1	ドラマ撮影の準備
2	ドラマ撮影 1
3	ドラマ撮影 2
4	ドラマ撮影 3
5	ドラマ撮影 4
6	ドラマ撮影 5
7	ドラマ撮影 6
8	ドラマ MA 1 整音
9	ドラマ MA 2 整音
10	ドラマ MA 3 整音
11	ドラマ MA 4 選曲
12	ドラマ MA 5 選曲
13	ドラマ MA 6 MIX
14	ドラマ MA 7 MIX
15	完成鑑賞①
16	完成鑑賞②
17	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	218	科目名	アートクリエイティブ実習		科目区分	非常勤	
科目群	専門	担当講師	川田 直樹		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教科書	講師作成資料			参考書			
成績評価	筆記試験 100%						

1. 授業概要

技術面と精神面を両軸として映像作り全体から見た映像美術、特に美術の基本を実践的に習得する

2. 到達目標

様々なジャンルの番組に関わる美術業務を理解できるようになる

3. 授業計画

前期	
1	自己紹介、放送業界(美術)で使用されている尺貫法。美術パートの役割分担。
2	美術スタッフが使用する工具や道具。小道具、持ち道具のつながりについて。
3	美術パートにおける様々な台本の読み方。香盤表について。
4	短編映像作品の台本と完成映像の比較。消え物について
5	模擬撮影による作品の作り方。スタッフの編成。台本の読み方。捉え方。
6	模擬撮影による作品の作り方。撮影の進め方。美術を意識したフレームづくり。
7	上手、下手から上座、下座の開設。小道具・掛け軸の扱い方。
8	大道具(建具)について。小道具、桐の箱の扱い方。四方掛けの方法、表現について。
9	装飾(家具)の扱い方。安全性を考えた家具の持ち方。組み合わせによる表現(花と花器)
10	美術(図面)平面図、立面図の書き方、見方①
11	美術(図面)平面図、立面図の書き方、見方②
12	美術(図面)平面図、立面図の書き方、見方③
13	30分程の映像を参考に、芸術的な準備や作業日数の解説。
14	日本建築。日本間における各パーツの名称。京間、中京間、江戸間の解説。
15	舞台美術、イベント美術、ライブ等の美術。過去の授業をもとに様々な質問に答える。
16	前期授業の総合的な復習。
17	前期試験
後期	
1	ENG制作における、美術的な視点での台本の読み方、考え方。
2	ENG制作における、美術的な視点での準備、調べ物、ロケハン。
3	卒業制作における、美術的な視点での台本の読み方、考え方
4	卒業制作における、美術的な視点での準備、調べ物、ロケハン。
5	美術パート、スタッフ以外の美術関連会社のいろいろ。
6	ドラマとバラエティや情報番組の美術の違い。
7	映像美術におけるよごしの表現(大道具、装飾、小道具、衣装)①
8	映像美術におけるよごしの表現(大道具、装飾、小道具、衣装)②
9	映像美術におけるよごしの表現(大道具、装飾、小道具、衣装)③
10	被写体に対する考え方、美術パートと他のパートの比較。
11	美術パートを映像制作全体からとらえての注意点や考え方。
12	卒業後の仕事につくにあたっての心掛けや仕事に対する考え方。
13	卒業後の仕事につくにあたっての心掛けや仕事に対する考え方。
14	ENGの作品を見ながら美術の視点からの総括。
15	卒業制作を見ながら美術の視点からの総括。
16	後期授業の総合復習
17	後期試験

## 科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	219	科目名	番組制作論		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	金田 龍		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態	講義
教科書	講師作成資料			参考書			
成績評価	筆記試験及び番組企画書などの課題提出物 60%、平常点や授業への貢献度 40%						

### 1. 授業概要

番組制作において実践的な技術や注意すべきこと、視聴者、出演者、スタッフ、撮影に関わる人との意思疎通のとり方を習得する。

### 2. 到達目標

映像業界に就職するにあたり、知っておくべき番組制作の手順と慣習を身に付ける。

### 3. 授業計画

前期	
1	制作・演出の仕事
2	○演出・脚本・演技について
3	〃
4	〃
5	○現場スタッフ各パートの役割・プロの現場について
6	〃
7	〃
8	○脚本から演出する作法
9	〃
10	〃
11	○作品研究
12	〃
13	〃
14	ディベート①
15	ディベート②
16	ディベート③
17	撮影現場についてレポート作成
後期	
1	○作品研究
2	〃
3	〃
4	学園祭準備
5	卒業制作準備①
6	〃 ②
7	卒業制作撮影
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	〃
16	卒業制作レポート作成
17	後期期末試験



科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	220	科目名	ドラマ演出論		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	小中 和哉		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態	講義
教科書	なし			参考書			
成績評価	筆記試験 90%平常点や授業への貢献度 10%						

1. 授業概要

実際の映像作品を題材に、撮影する際に必要とされる基本的な演出方法を習得できる。

2. 到達目標

演出業務に関わる人物との意思疎通が円滑に出来るようになる。

3. 授業計画

前期	
1	実習用シナリオ①
2	実習用シナリオ②
3	映像解説①
4	映像解説②
5	試験対策授業
6	試験対策授業
7	試験対策授業
8	映像解説③
9	映像解説④
10	映像解説⑤
11	卒制企画書①
12	卒制企画書②
13	卒制企画書③
14	映像解説⑥
15	映像解説⑦
16	作品鑑賞①
17	作品鑑賞②
後期	
1	映像解説⑧
2	映像解説⑨
3	映像解説⑩
4	映像解説⑪
5	映像解説⑫
6	映像解説⑬
7	映像解説⑭
8	映像解説⑮
9	卒制撮影
10	卒制撮影
11	卒制撮影
12	映像解説⑯
13	映像解説⑰
14	映像解説⑱
15	映像解説⑲
16	作品鑑賞①
17	作品鑑賞②

## 科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	221	科目名	ENG 番組制作実習 I		科目区分	実務経験教員	
科目群		担当講師	橋本・古田・斉藤		履修区分	選択必修	
開講学年	2 学年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態	実習
教科書				参考書			
成績評価	試験 80% (筆記 50%・実技 50%)、授業やグループへの貢献度 10%、その他課題評価 10%						

### 1. 授業概要

主にロケ収録に於ける ENG カメラ・音声機材・照明の取り扱い方法を総合的に理解し、企画・演出・撮影進行に於ける制作分野も総合的に理解する。

### 2. 到達目標

習得した技術により、自主的に企画を立案し番組制作ができるようになる。

### 3. 授業計画

前期	
1	自己紹介、1年次履修内容の復習 (カメラ知識、音声知識、照明知識)
2	1年次の総復習 (カメラセッティング、レンズの特徴、被写界深度、音声入出力、照明種類・色温度)
3	インタビュー撮影①練習 (撮影方法、カメラワーク、照明の当て方、マイクの設置法)
4	インタビュー撮影②実践 (校内ロケ撮影実習)
5	テーマに合わせた撮影方法① テーマ・被写体決め・実践 (校内ロケ撮影実習)
6	その他の撮影方法①インサート撮影 (湯気の出る食品の照明の当て方、画角サイズ、構図)
7	自分たちで企画から撮影まで① a,企画打ち合わせ
8	b,撮影準備
9	c,撮影
10	d,撮影予備日
11	撮影後のプレビュー・講評
12	自分たちで企画から撮影まで② a,企画打ち合わせ
13	b,撮影準備
14	c,撮影
15	撮影後のプレビュー・講評、試験前説明等
16	前期期末試験① (筆記試験)
17	前期期末試験② (実技試験)

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	222	科 目 名	ENG 番組制作実習Ⅱ		科目区分	実務経験教員	
科 目 群		担当講師	橋本・古田・斉藤		履修区分	選択必修	
開講学年	2 学年	開講学期	後期	単位数	6	授業形態	実習
教 科 書				参考書			
成績評価	試験 80% (筆記 50%・実技 50%)、授業やグループへの貢献度 10%、その他課題評価 10%						

1. 授業概要

前期授業で習得した技法などを用いて、自主的に企画立案しより実践的な撮影技法を習得する。

2. 到達目標

習得した技術により、自主的に企画を立案し番組制作ができるようになる。

3. 授業計画

後期	
1	前期期末試験解説
2	ロケ撮影実習①打ち合わせ
3	打ち合わせ
4	打ち合わせ予備日
5	撮影準備
6	撮影準備
7	撮影
8	撮影予備日
9	卒業制作の撮影①
10	卒業制作の撮影②
11	卒業制作の撮影③
12	ロケ撮影実習②打ち合わせ
13	撮影準備
14	撮影
15	ロケ機材総合復習、試験前説明
16	後期期末試験① (筆記試験)
17	後期期末試験② (実技試験)

## 科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	放送映像学科
科目番号	223	科目名	ノンリニアエディティング I	科目区分	専任
科目群		担当講師	大野 紗耶子	履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期		授業形態	実習
教科書	なし	参考書			
成績評価	課題編集作品 70%、平常点 30%				

### 1. 授業概要

1年次に学んだノンリニア編集の基本操作の復習や、新たな機能の練習を行い、2年次撮影素材の編集を行う事でより高度な編集技術を習得する。

### 2. 到達目標

編集業務に於いてより実践的な編集処理が出来るようになる。

### 3. 授業計画

前期	
1	龍踊り 課題①：素材の確認、ビンの振分け・サブクリップ作成
2	〃 ②：編集の基本操作復習、トリミング、カットの移動
3	〃 ③：スプリット編集や一括編集、音の編集
4	〃 ④：カラーコレクション、モーションエフェクト
5	〃 ⑤：タイトルツール、ステップイン・ステップアウト操作
6	〃 ⑥：ピックアップインエフェクト、エクスポート設定(MA用)、デジタルカット
7	入学式素材①：素材のデジタイズ
8	②：トラッキング操作、デジタルカット、画面の合成
9	ENG 撮影課題の編集①：デジタイズ(micro SD/P2 カード取り込み)
10	〃 ②：各自で編集
11	〃 ③：各自で編集・TFX 基本操作説明・テレビ画面の基本テロップ構成
12	〃 ④：白完パケ、テロップ入れ TFX：サイドテロップ作成
13	〃 ⑤：完パケエクスポート：MA用AAF/OMF TFX：コメントテロップ作成
14	〃 ⑥：QuickTime(課題提出用)
15	編集技術総合実習①
16	編集技術総合実習②
17	課題プレビュー総復習

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	224	科目名	ノンリニアエディティング II		科目区分	専任	
科目群	専門	担当講師	大野 紗耶子		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	実習
教科書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題編集作品 70%、平常点 30%						

1. 授業概要

撮影実習で撮影した素材を用いて各自で編集を行い、作品として完成できる技能を習得する。

2. 到達目標

Avid の操作習熟により、実践的な編集処理が出来るようになる。

3. 授業計画

前期	
1	開講なし
後期	
1	スポーツ大会(行事編集)：素材の取り込み TFX：吹き出しテロップを作る
2	スポーツ大会(行事編集)：素材の確認 TFX：トリキリ画面を作る photoshop との連携
3	スポーツ大会(行事編集)：粗編集 TFX：テクスチャーを活かしたテロップ作成
4	スポーツ大会(行事編集)： //
5	スポーツ大会(行事編集)： //
6	スポーツ大会(行事編集)：白完
7	スポーツ大会(行事編集)：音楽つけ
8	スポーツ大会(行事編集)：完成、提出
9	ENG 撮影素材：素材の取り込み TFX：ENG 素材に沿ったテロップ作成
10	ENG 撮影素材：提出用 QuickTimeMovie 作成
11	卒業制作：編集
12	卒業制作： //
13	卒業制作：MA 用書き出し AAF・QuickTimeMovie
14	卒業制作：MA 音戻し
15	卒業制作：書き出し
16	編集技術総合実習①
17	編集技術総合実習②

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	225	科目名	総合演習		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	小中 和哉、金田 龍、高橋 巖、他		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態	演習
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点 40%授業への貢献度 40%、制作レポート評価 20%						

1. 授業概要

講師、もしくは学生が作成した脚本をもとに講師が実際の演出を行い、学生は各パートの職種に分かれて撮影、編集を行い実際の制作プロセスを理解する。その後学生が講師の指導により演出も含めて全ての業務プロセスを行い、より自主的な制作能力を習得する

2. 到達目標

テレビ番組、映画の制作で使われる脚本、画コンテ、スケジュール表などの作成が出来るようになる。  
編集志望の学生はドラマの編集を中心に編集テクニックが上達する。  
音声・MA希望の学生には別に時間をとり上達を目指す。

3. 授業計画

前期	
1	脚本実習
2	教員が監督のもと映像作品を作る①
3	教員が監督のもと映像作品を作る②
4	教員が監督のもと映像作品を作る③
5	教員が監督のもと映像作品を作る④
6	学生が監督のもと映像作品を作る①
7	学生が監督のもと映像作品を作る②
8	学生が監督のもと映像作品を作る③
9	学生が監督のもと映像作品を作る④
10	上映会・講評
11	卒業制作作品の企画書作り①
12	卒業制作作品のプロット・構成案作り①
13	卒業制作作品のプロット・構成案作り②
14	卒業制作作品のシナリオ作り①
15	卒業制作作品のシナリオ作り②
16	卒業制作作品のシナリオ作り③
17	卒業制作作品のシナリオ作り④

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	226	科目名	卒業制作		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	小中和哉、金田龍、高橋巖、斉藤みゆん		履修区分	必修	
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	6	授業形態	実習
教科書	なし		参考書				
成績評価	平常点 40% 授業への貢献度 40%、卒業制作レポート評価 20%						

1. 授業概要

2年間の集大成として班ごとにオリジナルの作品を学生主体により制作する

2. 到達目標

映像作品の企画から完成まで全てのプロセスを学生自身で実施できるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	開講なし
後期	
1	卒業制作スケジュール調整
2	スケジュール調整と機材調整など
3	卒業制作撮影準備①（ロケーションハンティングなど）
4	卒業制作撮影準備②（必要なものの手配など）
5	卒業制作撮影準備③
6	卒業制作の撮影①
7	卒業制作の撮影②
8	卒業制作の撮影③
9	卒業制作の撮影④
10	編集①
11	編集②
12	編集③
13	編集④
14	MA①
15	MA②
16	MA③
17	上映講評会